

青い空に浮かぶ白い雲 6

— 第68回 国民体育大会 スポーツ祭東京2013 ボウリング —

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 見えにくいものを 見えやすくする経営手法

1 100人に聞きました

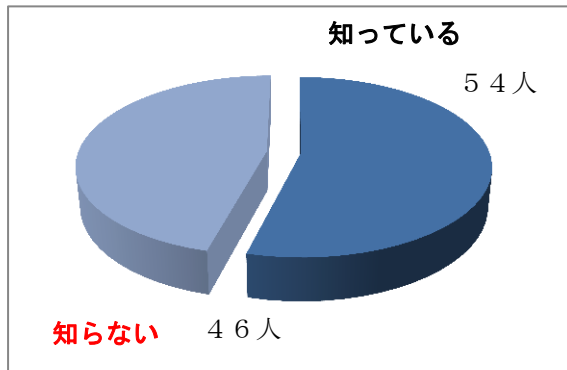
東大和市教育委員会社会教育部が、平成25年の国民体育大会開催に向けた取り組みを進めています。

また、今年の11月2日(金)～4日(日)まで、ビックボックス東大和で行われるリハーサル大会に向けての準備も追いつ込みに入りました。

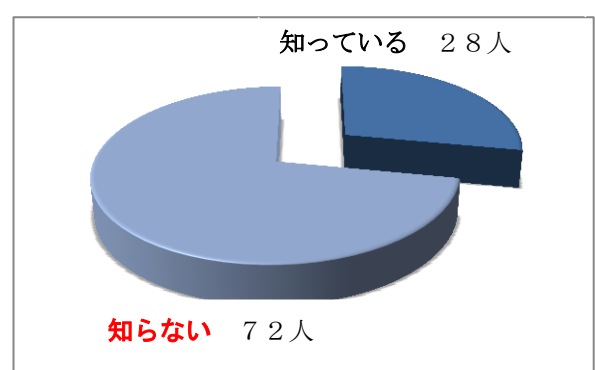
社会教育部の職員は、これまでマスコットの「ゆりーと」の着ぐるみを着用し、各学校の運動会を回り国体のPRに汗だくで努めてきました。

リハーサル大会を前に、現在、市民の方々はどれくらい国体に関して認識されているのでしょうか。課題を把握するとともに、取り組みへのモチベーションを高めたく、富士社会教育課主事に「100人に聞きました」アンケートを実施してもらいました。以下はその結果です。

Q 平成25年に東京で国体が開催されるのを知っていますか



Q 東大和市中で開催される競技種目は



◆ 性別 男性47人 女性53人

◆ 年齢 19歳以下(1人) / 20～39歳(30人) / 40～59歳(34人) / 60歳以上(35人)

Q キャラクター「ゆりーと」を知っていますか

知っている(40人)

知らない(60人)

Q リハーサル大会について

知っている(18人)

知らない(82人)

Q 東大和で開催される競技種目について

知っている(28人)

知らない(72人)

Q 関連情報や各種グッズなどについて

知っている(40人)

知らない(60人)



のぼり旗(26人) 横断幕(10人) ゆりーとマンホール(5人) ポスター(16人) その他(7人)

Q 国体情報を見つけた場所

市報(18人) 市HP(8人) 市役所(19人) 市民体育館(5人) その他(6人)

「国体」開催に向け 市民意識を盛り上げましょう

現在までのところ、国体開催に関する市民の認識はあまり高くありません。さらに、東大和市中において開催される競技種目がボウリングとなると、知っている方はグーンと減ります。

全国からボウリングのトップ選手が東大和市中に集結します。東大和市中のよさを感じてもらいながら、気持ちよく地元に戻っていただけるよう、迎える側の国体に関する認識を高め「爽やかなおもてなし」ができるようにしていきましょう。

社会教育部では、小俣社会部長を中心に、高橋国体推進担当副参事を運営リーダーとして、関田国体担当主査、富士社会教育課主事を軸に全員体制で取り組んでいます。

※平成25年にはデモンストレーション種目として、「スポーツチャンバラ」も行います。